

## RAC、宮古 = 多良間線の航空機大型化を決定

2003年10月10日の新多良間空港開港に合わせて実施

2003年7月25日

第03025号

JTAグループの琉球エアークommuter（RAC、本社 那覇市、社長 山田 有）は、本年10月10日に予定されている新多良間空港（沖縄県多良間村、滑走路長1,500m）の開港に合わせて宮古 = 多良間線の航空機を大型化することとし、本日、国土交通省に運航ダイヤを届出致しました。

現在、宮古 = 多良間線にはBN2Bアイランダー（9席）を1日7～9往復させていますが、新空港開港に伴い多良間島の滑走路長が現行の800mから1,500mに延長されることから、より大型のDHC-8ダッシュエイト（39席）を投入することと致しました。

機材大型化により、座席数にも余裕が出ると見込まれていることから、多良間島への観光誘客にも取り組むほか、貨物搭載可能量も大幅に増加致します。

また、同路線の航空機変更に伴い、BN2Bは10月以降1機退役させ、3機体制と致します。

宮古 = 多良間線航空機大型化の概要は下記の通りです。

路 線 宮古 = 多良間線  
 変更日 2003年10月10日(金)  
 航空機・便数など

	10月10日から	10月9日まで
航空機	DHC-8ダッシュエイト(39席)	BN2Bアイランダー(9席)
便数	毎日2往復	毎日7～9往復
提供席数	片道1日当り78席	片道1日当り63～81席
貨物搭載量	片道1日当り1.8 t	片道1日当り1.3～1.6 t

ダイヤ（10月10日～31日）

宮古		多良間	多良間		宮古
RAC891便	1000	1020	RAC892便	1050	1110
RAC895便	1540	1600	RAC896便	1630	1650

### 【ご参考】宮古 = 多良間線概要

1974年7月、南西航空（現・JTA）がDHC-6型機（19席）で開設。RACは1992年11月に同路線の運航を引き継ぎ、2000年8月よりBN2B（9席）を投入（DHC-6は2002年1月に退役）しています。2002年度の輸送実績は、旅客数28,323名様（利用率70.7%）、貨物郵便重量125.5 t。

以 上